



## 秋のモニターツアー カボチャの収穫などを体験

9月15日(土)に和寒町着地型観光推進協議会主催の札幌発着バスツアー「日本一かぼちゃの里・わっさむスペシャルツアー」に札幌近郊の35名の参加がありました。

ソラナファーム(字菊野)でのカボチャ収穫体験をした参加者からは「広いカボチャ畑の景色を初めて見て、テンションが上がり楽しかった。」と話してくれました。ツアーではその他、かぼちゃのオブジェ作りや片栗庵・塩狩峠記念館の見学、カボチャ懐石を味わいました。天候にも恵まれ、参加者は和寒の見所が詰まったツアーを楽しんでいました。



## 和寒中学校祭 笑顔満祭～一瞬の輝きを永遠の思い出に～



9月16日(日)中学校祭が開催され、意見発表大会や学級ステージ、合唱コンクールのほか、生徒会企画が発表され、生徒達は一生懸命練習してきた成果を披露していました。

また、お昼にはPTA役員によるバザーが実施され、生徒や会場に訪れた方々を楽しませていました。





## 胆振東部地震災害への支援 職員3名を応援派遣

北海道に甚大な被害をもたらした胆振東部地震を受け、被災自治体の一つ勇払郡厚真町へ、9月8日（土）から10日（月）まで、消防和寒支署 山住消防士長が派遣され、行方不明者の搜索活動にあたりました。また、9月19日（水）から23日（日）には、産業振興課 塚崎係長と総務課 白川部主事の職員2名を派遣し、救援物資搬入の整理、災害本部の支援（窓口や電話対応、災害情報の整理、義援金リストの作成など）業務にあたりました。役場から派遣された2名の職員は、「日頃から、災害の規模に応じたシミュレーションをしておくことが重要。」「派遣職員やボランティア職員がたくさん集まっていた。現地職員は災害状況を把握し、集まった人を上手く配置していくことが大切。」などの感想を帰町後、町長に報告しました。

また、9月22日（土）には、勇払郡むかわ町で和寒町から社会福祉協議会ボランティア6名が被災地の支援にあたりました。



役場職員の応援派遣出発式



搜索活動の打合せをする山住消防士長



物資搬入の整理をする塚崎係長



災害状況を取りまとめる白川部主事

## 塩狩で町民植樹祭 ～塩狩峠に愛着を～



10月6日（土）町民植樹祭を開催し、塩狩温泉跡地とJ A塩狩駅東側に、イチヨウ30本、ニトリザクラ5本、エゾヤマザクラ18本の植樹を行いました。

この植樹祭は、ニトリ北海道応援基金事業の助成金を受け実施しており、当日は町民や森林組合、和寒建設協会など、子どもから大人約100人の参加がありました。

参加者は、指導林家の吉田昭八さん（三笠）の指導のもと、ていねいに苗木を植樹していました。

